



H30スローガン
「協働」



平成30年5月16日(水)
発行所: 中部教育事務所

“がんばる研究主任”を応援します!

中部教育事務所では、第1回研究主任連絡協議会(義務教育課主催)の実施を受け、研究主任が抱える校内研究推進上の課題の解決や悩みの解消を目的として「校内研究支援」を行っています。

授業改善や校内研究を進める上でお困りのことがあれば、いつでも中部教育事務所にご相談ください。



校内研究で授業改善に取り組む学校を「校内研究支援」で全力サポート!



— 昨年度の支援例 —

A小学校では「学力調査の分析結果を授業改善にどのように生かせばよいか教えてほしい」というニーズにお応えしました。

実際にその学校の学力調査の結果を用い、グラフの見方や授業改善への生かし方について具体的に説明させていただきました。

また、右のスライドのように傾向の異なる分布をサンプルとして、それぞれの場合の授業改善の視点について一緒に考えました。

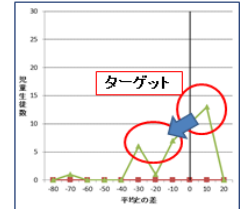


担当の指導主事がともに
決策を探ります!

分布のサンプル①

右寄りの山型

これまで行われてきた授業(分布による実態を問わず)



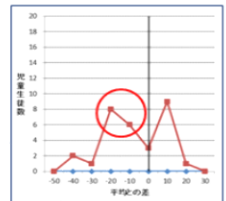
【授業改善の視点】

- 自力解決を中心とした指導
- 個→グループ→全体の流れで練り上げていく指導
- 話し合い活動や説明する活動を取り入れた指導

分析(実態)に基づいた指導(授業)の必要性
(平均をやや下回る子どもをターゲットの中心として)

分布のサンプル②

双こぶ型・リアス型



【授業改善の視点】

- 個別指導の工夫(理解が遅い子どもを集めて指導等)
- 小集団による学び合いを取り入れた指導
- 習熟の時間を多く確保
- 理解が速い子どもへ発展的な課題の提供



問合せ先: 中部教育事務所 (学校支援担当:小川、広報担当: 柚木山)

TEL (0985) 44-3322 Fax (0985) 44-3330

代表アドレスchubu-kyoiku@pref.miyazaki.lg.jp

本たよりに記載されている内容や取組についてのご意見やご要望はこちらまでお願いします。